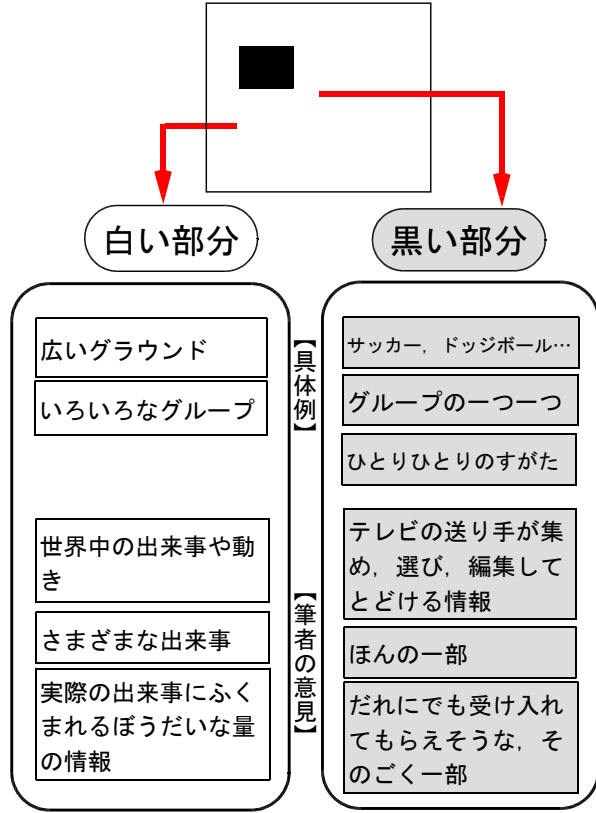


メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう  
めあて

筆者の考えを読み取り、意見の述べ方の工夫を考えよう。



○筆者が図を使って伝えたかったことは何だろう。  
わたしたちはテレビを見るだけで分かったつもりになるが、テレビからとどけられる情報はほんの一部であり、報道されなかった事実の中には、もっと重要な情報もたくさんある。

筆者の意見の述べ方のくふう  
図や具体例を用いる

効果  
自分の考えを読者になっとくさせ、より分かりやすく伝えることになる。

【5 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート「テレビとの付き合い方」⑤  
本時のねらい

「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を整理し、図や具体例を用いている筆者の意見の述べ方に気付かせる。

1 学習計画表を見て、本時の学習内容とめあてを確認する。

○ 本時は、前時に見付けた「黒い部分」と「白い部分」の言葉を整理し、筆者の意見を読み取っていくことを確認させる。

2 「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を整理する。

○ みんなが見付けた「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を、話し合いながら整理させる。

※ 子どもたちのワークシートを事前にチェックしておき、あらかじめ短冊に言葉を書き出しておきます。

○ 白か黒かを考え、最初に発表した児童に実際に黒板で操作させ、話し合いながら整理していく。

※ 「白い部分」と「黒い部分」との対応関係や具体例と筆者の考えのまとめりについては、その区別が分かるように教師と一緒に分類していきます。

※ 「サッカーやドッジボール、おにごっこ、なわとび」という表現は個々を見れば「黒い部分」に当てはまりますが、文章の流れからは、「白い部分」とも取れるので、状況に応じて補足説明します。

3 筆者が「黒い部分」と「白い部分」の図を使って伝えたかったことをまとめる。

※ 整理した「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を参考にまとめさせます。必要があれば「錯覚」「見えなくなる」などの言葉を使ってもよいことを伝えます。

4 筆者の意見の述べ方の工夫について考える。

○ 筆者の意見の述べ方の工夫として、筆者が図や具体例を用いた意図や、それにはどのような効果があるのかについて考えさせる。

※ 自分の意見を納得させたり、より分かりやすく伝えたりするために、図やグラフを用いていることを押さえます。

評価 筆者の考えを読み取り、図や具体例を用いている筆者の意見の述べ方の工夫に気付いている。  
(読ウ)

5 学習を振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

○ 次時は、資料部分について読み取っていくことを伝える。